教科目名　歴史学概説　（History）

学科名・学年　：全学科　5年　（教育プログラム　第2学年　○科目）

単位数など　：選択　2単位（前期1コマ，後期1コマ，学習保証時間 45 時間）

担当教員　：田中美穂

授業の概要

ブリテン諸島の歴史について，中世を中心に講義する。現在のブリテン（イギリス）という国は，イングランド，ウェールズ，スコットランド，北アイルランドからなる連合王国であり，ブリテン諸島を構成するブリテンとアイルランドは，先史時代から互いに影響し合ってきた．ヨーロッパ大陸とブリテン諸島との交流や，現在のブリテン諸島のさまざまな側面にも言及しつつ，授業を行う．

達成目標　　**大分高専目標(A1)，JABEE 目標(a)**

（1）ブリテン諸島の多様性を理解する．（定期試験）
（2）ブリテン諸島各地の「ネイション」意識の重要性を理解する．（定期試験）
（3）講義内容から選んだ歴史的なテーマについて，論述する力を身につける．（定期試験）

回	授業項目	内容	理解度の自己点検
1 2 3 4 5 6 7	ブリテン諸島について イングランド中心史観について 「ケルト・ブーム」 鉄器時代 ローマン・ブリテン 初期キリスト教時代（1） 初期キリスト教時代（2）	○「中央のイングランド」対「ケルト周縁」という二項対立でとらえられてきた従来の「イングランド中心史観」を克服する「ブリテン諸島史」の重要性について理解できる ○「島のケルト」の近代性と虚構性について理解できる ○中世初期のキリスト教文化について理解できる	【理解の度合い】
8	前期中間試験		【試験の点数】　点
9 10 11 12 13 14	前期中間試験の解答と解説 中世初期のイングランド 中世初期のウェールズ 中世初期のスコットランド 中世初期のアイルランド ヴァイキングの活動	○ブリテン諸島のそれぞれの地域の王国形成史について理解できる ○ブリテン諸島におけるヴァイキングの活動について理解できる	【理解の度合い】
15	前期期末試験		【試験の点数】　点
	前期期末試験の解答と解説		
16 17 18 19 20 21 22	ノルマン人のイングランド征服 イングランドとアンジュー王家（1） イングランドとアンジュー王家（2） エドワード1世から百年戦争期まで 中世後期のウェールズ 中世後期のスコットランド 中世後期のアイルランド	○ノルマン期以降のイングランドとフランスとの関係について理解できる ○ブリテン諸島において優位に立つことになるイングランドと，そのイングランドの侵入・支配に対する各地域の対応，状況の変化について理解できる	【理解の度合い】
23	後期中間試験		【試験の点数】　点
24 25 26 27 28 29	後期中間の解答と解説 「アーサー王」伝説と各地の起源神話 近現代のブリテン諸島（1） 近現代のブリテン諸島（2） ウェールズ、スコットランドのナショナリズム 階級社会と移民の問題	○「アーサー王」をめぐる史実と伝説の違いについて理解できる ○現在につながるブリテン諸島各地の「ネイション」意識について理解できる ○ブリテン諸島の現在の諸問題について理解できる	【理解の度合い】
30	後期期末試験		【試験の点数】　点
	後期期末試験の解答と解説		

履修上の注意	講義中に話す内容について，各自でしっかりノートまとめをすること．	【総合達成度】
教科書	プリント配布．	
参考図書	毎回，授業で紹介する．	
関連科目	歴史学特論Ⅰ・Ⅱ（専攻科1年），世界史（2年），日本史（1年）	
評価方法	定期試験により評価する．評価が 60 点以上を合格とする．	【総合評価】　点